



日本薬剤学会「薬と健康の週間」懸賞論文募集のご案内

本学会では、昨年に引き続き「薬と健康の週間」への協賛として、薬学を学んでいる若い学生を対象に広く論文を募集致します。皆様、奮ってご応募下さい。

対 象	薬学部学生である者（大学院生は不可・教養学部等では薬学部進学予定者）。
締 切 日	2019年10月8日（火）
懸 賞	賞状と副賞を授与致します。
発 表	入選者は本人に通知するとともに、応募論文を本学会誌「薬剤学」に掲載致します。
テ ー マ	<p>テーマ： 令和・新時代に挑む薬学</p> <p>趣意説明：</p> <p>平成の世が幕を閉じ、令和の扉が開かれました。平成の30年余りを懐かしむ人、夢に見た新時代に希望を託す人…社会にあるそれぞれの分野において、少なからず平成の一時代を振り返り、そして令和・新時代での更なる飛躍を誓ったことかと思えます。平成における薬学は、薬剤師が医師、歯科医師と並び医療の担い手として医療法に明記され（平成4年）、全国の医薬分業率が50%を超え（平成15年）、薬剤師養成を目的に大学薬学課程が6年制に改訂（平成18年）されるなど、まさに大きな変化を遂げてきました。そして今、歴史の変わり目に立った若者たちが、その令和・新時代の薬学に向けて何を抱き何処へ向かうと想うのか。挑戦、抱負、願い、不安、悩み、決意、夢、大志など、今思っているどんなことでも構いません。臨床、研究、教育、あるいは行政などに対し、新時代に挑む令和の若者として自由に描く薬学へのビジョン、コメント、アイデアを披露して下さい。</p>
応募要領	<p>前項のテーマを題名に以下書式で作成した論文を、Email添付で本学会事務局に提出</p> <ol style="list-style-type: none">冒頭に氏名（ふりがな）・大学名・学部名・学年・Emailアドレス・連絡先住所・電話番号を記載冒頭のコンタクト情報を除き1,600文字以内Microsoft Word形式のファイル
お問合せ ・ 提 出 先	<p>公益社団法人日本薬剤学会事務局</p> <p>〒112-0012 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 4F</p> <p>Email: secretariat@apstj.jp Phone: 03-6277-4351 Fax: 03-5844-6290</p>